

国連認定のNGOに

岡山・アジア医師連絡協議会

NGO(非政府組織)として、世界を舞台に緊急救援活動を展開している「アジア医師連絡協議会」(AMD A 本部・岡山市榴津、菅波茂代表)。最近は国連から認定NGOの資格が与えられ、紛争の続く旧ユーゴスラビアにも支援を行っており、国内外から注目を集めている。

AMD Aなど民間七団体や国連側が望む運営方法の
で組織する日本緊急救援NGO 実現のため、複数のNGO
GOグループ(JE N、菅波茂代表)が参画する可能性もある」
波代表は昨年六月、紛争(外務省難民支援室)こと、問題が発生したアフリカ・
の純くクロアチアなど旧ユーゴスラビアにスタッフを派遣。セルビア難民らを対象に現在も、診療所運営や精神的ケアなど医療・教育支援活動を行っている。

過去の救援活動評価

冷戦終結背景に
日本政府や国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)などが共同で、クロアチアに建設中の難民収容施設(収容人員約千人)の運営についても、JENは外務省に対し、難民への医療や職業訓練などで参画したい意向を申し入れた。「政府

から、有力候補とみられていた背景には、冷戦終結に伴う、世界各地での民族・局地紛争の多発という事象がある。続出する難民や被災民に対し、政府レベルでの対応が実行されるまでに素早く現地に入り、国際的な人的貢献を行う」というNGOの役割が重要視されるようになった。



クロアチアに派遣 施設運営に参画へ

クロアチアの難民にシート類を配布するAMD AなどJENの女性スタッフ 昨春秋

AMD Aの最後の「A」はもともとアジアを意味するが「今ではA.L.L.すべて」の意味合いが強まっている」と菅波代表は「今後は、国際貢献に関心を持つ人のすそ野を広げていくことが重要。そのため、若者が国際貢献に必要な言語や緊急医療などを学べる大学の設立などにも取り組んでいきたい」と話している。

火やソマリア、カンボジアなどの国を中心に活動を展開中。「こうした活動を評価した国連はこのほど、AMD Aに国連認定NGOとしての資格を与え、AMD Aの国連理事事会への発言や、医療保健分野での文書提出が可能となった。

アジアからA.L.L.へ
昨春秋にはAMD Aが「生存のための教育」をテーマに、飢えや貧困などの問題を抱えた国々の自助努力に対する貢献を考える。

「世界のNGOがネットワークを形成し、国連機関などと連携をこめて協力していく」との宣言を採択するなど、民間からの国際貢献について意見を交わした。今年十一月十三日からは第二回サミットを同市などで開催、

